

## 第6回 南大沢保健福祉センター施設利用者説明会

日 時 令和5年(2023年)10月6日(金) 午前11時30分から午後0時50分

場 所 大広間

参加者 施設利用者(浴室利用者を含む) 10名(男10名)

事務局 4名

事務局より説明会資料に沿って説明。(略)

### 【説明会の中で出た質問・意見】

(ご質問)あったかホールを利用していたが、あったかホール終了に伴い、南大沢保健福祉センターを利用している。シルバーパスで通っているが廃止にはがっかりしている。南大沢保健福祉センターは浴室に入れる回数が1週間に1回か2回で少なくて不便。利用者が少なく感じる。ただ、すぐに浴室に入れるのはありがたい。南大沢保健福祉センターの浴室がなくなったらどこに行けばいいのか。なくなるのはしょうがないと思うが…。週2回、再来年に入れるような方法で再開してほしい。

(回 答)現在の浴室の利用方法については、コロナ禍に密にならないように男女別に利用日を設定しました。その後、コロナの5類移行を機に、(週3回利用できるが混雑する)コロナ前の利用方法に戻すのか、(週1、2回の利用だがゆったり入れる)現在の男女別の利用日を続けるか、どちらが良いか浴室利用者にアンケートを取った結果、希望の多かった今の男女別の利用日の形をとっています。

浴室の廃止については、市議会に提案し審議されたなかで廃止の決定がされています。今後は、健康づくりのために当センターを利用してほしいと思います。

(ご質問)スポーツをした後のシャワーは設置できないのか。

(回 答)センターで実施する体操は、いわゆるスポーツではなく、主にフレイル予防として力を入れていきます。シャワーの設置は考えていません。

(ご質問)ニーズ調査をやったと言っているが、記憶にない。ここにいる人にニーズ調査がやったことを知っていたかどうか聞いてほしい。

(回 答)アンケート用紙については、センターの利用者からとっており、用紙は受付に置いていました。利用者に声掛けなどもしたと聞いています。

(ご質問)地域へのアウトリーチとは何？横文字で意味が分からない。

(回 答)市の職員が地域へ赴き、健康づくりの活動支援や子育てに困難を抱える世帯へ訪問し、相談支援等を行っていくことです。

(ご意見)浴室廃止ありきで話をしている。我々がニーズ調査をやったことを知らないということは

廃止ありきで考えている。

(ご質問)館長は直接利用者と交流をしているか。

(回 答)他のセンターで主査をしていた頃はよく交流をしていました。館長になってからは少なうはなっているがお話することはあります。このような場で皆様からご意見をいただくことは初めてだと思います。

(ご質問)あったかホールの浴室廃止の時は、市で決まったことだからしょうがないと言われた。今回のニーズ調査でも館長が直接訪ねてアンケートを取っていただければ違っていたのではないか？声を上げても一人や二人では声が届かない。

(回 答)浴室を利用されている方の声を聴くことはもちろん大事なことでと認識しています。しかし、健康増進施策を望まれている多くの方の意見も無視することはできません。今回健康増進施策に重きを置く方へ舵を切りました。

(ご意見)浴室廃止の知らせはあまりにも唐突。多くの利用者が困惑する事態が生じた。八王子の利用者は従順で優しい人が多い。反対することに遠慮をして言葉を出さない人の声を聴くというのが本来のアウトリーチ。支援体制を構築するアウトリーチをしてほしい。また、市長選が終わるまで、浴室の廃止について保留し、利用者と協議をしてほしい。

(ご意見)交通の便の問題。南大沢保健福祉センターの浴室がなくなったあとに、ほかの施設まで行く交通の便がない。利用しやすいように考えてほしい。

(回 答)ご意見は担当部署に伝えます。